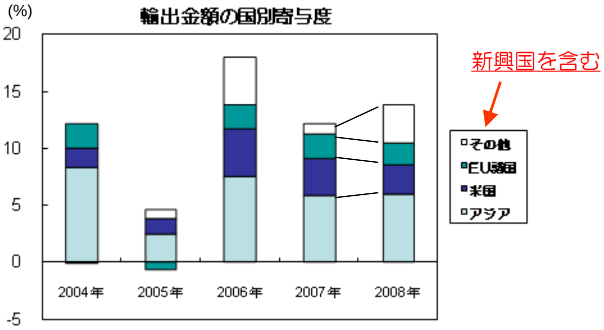
「Political Risk Insurance」
存在感を高める新興国　～日本経済の命綱になるか？～

先般開催された「イタリア・ラクイラサミット」においても、米国サブプライムに端を発した金融恐慌・世界不況の影響から米国・ドルの威信低下が顕著となってきていることを受けて、米国に依存していた日本経済（貿易・投資等）は、**「新興国」**と言われている国々との経済交流に道を切り開いていく方向転換が急務の課題となってきている。現在、単に「新興国」と呼ばれている国々は以下のような第2次世界大戦後に急に経済力をつけてきた国々をさすことが多いわけですが、BRICsとかVISTAとかの国々を正しく言えますか・・・？

BRICs　：ブラジル/ロシア/インド/中国
VISTA　：ベトナム/インドネシア/南アフリカ/トルコ/アルゼンチン
MENA　：中東/北アフリカ諸国（サウジアラビア/UAE/クエート/カタール/オマーン/バーレーン/トルコ/イスラエル/ヨルダン/エジプト/モロッコ）
NEXT11：イラン/インドネシア/エジプト/韓国/トルコ/ナイジェリア/パキスタン/バングラディッシュ/フィリピン/メキシコ/ベトナム

このような「新興国」との貿易取引・海外投資を活発にしていく為には、米国やEUのような、先進国の場合には考えなくても良かったリスク ⇒ カントリーリスク／ポリティカル リスク／テロリスク等について、しっかりとした対応・対策を講じておかないととんでもないヤケドを負うことになりかねません。

従来当該分野は、「NEXIの貿易保険」の独占だったものが、一昨年の4月から完全民間開放となり、海外の信用保険専門保険会社が日本での販売を始めています。



「新興国」との貿易取引／投資リスクに必要な保険「海外取引信用保険」

輸出代金の回収不能リスクを補償。
貿易取引の実態に応じて柔軟な保険手配が可能となっています。

＜補償内容＞
- ◆海外の取引先が倒産して輸出代金が回収できない。
- ◆支払期日を過ぎても、代金が支払われない 。
- ◆取引先の国における海外送金規制により輸出代金が回収できない。※国により引受け規制があります。

＜メリット＞
- ●資金繰りの安定　（貸倒れ損失の早期回収により資金繰りが安定。）
- ●与信管理の充実・向上　（保険会社による顧客先の与信審査により、貴社の与信管理体制が強化されます）
- ●経営の安定・対外信用力　（大口取引先の倒産など企業への影響が大きい巨額の損失などを回避することにより、経営の安定が図れ、対外的な信用力が向上します。）

＜海外投資リスクに対応する保険＞

特に、インドのムンバイで起こったテロによる高級ホテル占拠のようなケースの場合、事業再開に向けて破壊された建物等の修復費用は、さてどこから手当てされるでしょうか？2001年のワールドトレードセンターテロ事件以降、世界の保険会社は火災保険のカバーから、「テロ」による損害を免責にしていることご存知ですか（日本も同様）？国家没収・接収／送金停止等の純粋なカントリーリスク（①）だけでなく、このようなテロによる対応も保険でカバーされるようにしておかないと、「新興国」への海外投資においては、思わぬ多額の投資損失を蒙ることになります。カントリーリスクへの備え。投資物件の接収・収容・国有化や破壊による損害の補償を得ることができます。
※現地手配の火災保険では免責となる点にご留意ください。

①カントリーリスクとは民間企業間の契約への相手国政府の介入・民間投資への相手国政府の介入・その他の政治的“不可抗力”（戦争、政治的暴力、通商制限など）のことをいいます。

※投資物件とは、株式などの投資、貸付金、建機、在庫品などの動産、不動産などをいいます。

【ニュースに関するお問い合わせ先】
銀泉リスクソリューションズ㈱　E-mail/ solutions@ginsen-risk.com
〒102-0074　東京都千代田区九段南3-9-14　TEL03-5226-2301　FAX03-5226-2609